



日中のぽかぽかとしたお日さまがより暖かく感じられる程の、朝晩の冷え込み。晩秋の気配が深まる頃となりました。色とりどりの落ち葉やさまざまな形のどんぐりなど、秋の自然はこどもたちにとって宝の山。戸外遊びやお散歩が気持ちいい季節です。先日、防災新館 1 階にあるハロウィーンの飾りを見に行きました。こどもたちは飾りを見て、指を差しながら「かぼちゃ!」「どんぐり!」と言って喜んでいました。保育者が「どんぐりころころ」を歌うとこども達も一緒に歌い、楽しい時間になりました。これからも、積極的に散歩に行き楽しみたいと思います。



友達との関わり



最近よく利用する A 君(1 歳 9 か月)。初めは泣いていることが多かった A 君でしたが、最近はずぐに泣き止み自分から遊びを見つけて楽しんでます。帰る時はお友達全員に「タッチ! バイバイ!」と言ってお友達とハイタッチしてから帰るようになりました。

A 君から見た発達

初めての環境は大人でも不安に感じるものです。こどもにとってもそれは同じです。初めての環境、初めての先生、初めてのお友達などすべてが初めてのものばかり。こども達は新しい環境の中で、先生や友達、周りの人が安心できる存在なのか無意識のうちに探っています。

A 君も利用を重ねるうちに、きっずるーむが安心できる場所となり、友達もでき、自分から関わろうとする姿が増えてきました。

おおむね 1 歳から 2 歳ごろの時期になると、友達や周囲の人への興味・関心を持つようになっていっています。また、友達同士でおもちゃの取り合いをするのもこの時期見られやすいこどもの姿の一つです。友達と一緒に遊んだり、時には喧嘩をしたりして、こども達は友達との関わりを学んでいきます。

こども達の気持ちに寄り添うことを大切に、これからも様々な姿を温かく見守っていききたいと思います。



最近、きっずるーむを利用する子どもが増え、帰る時には「楽しかった」「まだ、遊びたい」と言う子どももいます。きっずるーむが子どもにとって楽しい場所になっていること何より嬉しいです。月齢の大きい子が、泣いている子の頭を優しくなでたり、玩具を持って来たりしてこどもたちなりに心配する姿もよく見られます。きっずるーむでは異年齢の関わりも大切にしています。これからも、こどもの成長を見守りながら、こどもが「また来たい」と思ってもらえる場所にしていきたいと思います。